



祝賀会で期待と決意を交歓

吉祥院病院増改築竣工祝賀会を10月10日新・都ホテルで、市内病院関係者、友の会役員、各民医連法人的代表など96名の方に参加頂き開催しました。

一部は、主催者の三浦理事長、清洲院長があいさつし、来賓の私病協清水会長、下京西部医師会山木副会長、保険医協会垣田理事長、京都民医連尾崎会長からあいさつを頂きました。吉祥院病院への想い、在宅医療への期待、先取り事業への注目等の言葉を頂きました。

第二部は、OBからのお祝いスピーチ、病院のあゆみのスライド上映、そしてジャズバンドの生演奏と続きました。参加者は、病院OBの方々の久しぶりの再会で、旧

交を温める輪が会場に咲きました。あっという間に予定した時間となり、祝賀会は盛会のうちに終わることができました。



小児科診療所合同で学習会(RCA分析法を用いて)を開きました

かどの三条こども診療所 師長

山田美紀子

8月29日に3診療所(京都民医連かみの診療所、吉祥院こども診療所、かどの三条こども診療所)合同で交流を兼ねて学習会を行いました。

現在、1歳までに接種するワクチンは定期接種と任意接種をあわせて11種類あり、そのうち10種類が医療機関で接種されています。不活化ワクチンは3〜4回の接種が必要であり、こども達は1度に3〜5種類のワクチンを同時接種しています。そんな中、ワクチンに関するインシデント・アクシデントはどこでも起こっていて、事業所ごとにさまざまな改善が行われています。



今回、京都民医連中央病院医療安全室の川原副看護部長の指導の下、3診療所のスタッフ(医師2名・看護師13名・事務11名計26名)が集まり、3つのグループに分かれて実際にあったトラブル事例を挙げてRCA分析法を使った事例の共有と学習をしました。

RCA分析(Root cause analysis)とは根本原因分析法といい、発生したインシデント・アクシデントの報告を分析し、得られた根本原因に対する対策を立て、診療行為にフィードバックするシステムのことです。

当日は短時間でしたが、川原副看護部長より講義をうけ、実際の事例に基づき出来事流れ図と準備した資料をもとに職種・事業所をこえて分かれた3グループで「なぜなぜ分析」を行い、その結果を発表、まとめとして講評をうけました。

感想では「多職種で事例を検討することは、多面的に事例を分析でき有意義だと思った」「各職種それぞれ業務内容、流れがわかった。RCA分析はともおもしろく、楽しくできた」「診療所の中では出なかった「なぜ」がたくさんあり、自分達の中での当たり前が当たり前でないことに気づかされた。流れやシステムの大切さを改めて実感した」と職種を超え楽しく学びあえた機会になりました。

1年前から3小児科診療所で師長協議会が開かれるようになり、その中で今回の学習会が企画されました。医師、事務を含めた初めてのグループワークでしたが、とてもわかりやすい分析方法で、意見が出しやすかったのも成功の要因だと思います。スタッフからの要望も多く、企画は今回だけにとどまらず、今後も交流会も含めて継続していけたらと思っています。